

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 1 年 7 月 10 日

設置・運営主体	上尾市		
設置主体	上尾市		
経営主体	上尾市		
事業所名 (施設名)	上尾市立緑丘保育所	種別	保育所
所在地	〒 362-0015 上尾市緑丘 2 - 3 - 1 9		
電 話	048-773-9865		
FAX	048-773-3011		
Email	s174500@city.ageo.lg.jp		
U R L			
施設長氏名	小林住枝		
調査対応担当者	小林住枝 (所属、職名： 緑丘保育所 所長)		
利用定員	80 名	開設年	昭和 51 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>《保育理念》</p> <p>1 すべての児童が心身ともに健やかに育成されるよう努める。</p> <p>2 すべての児童の生活を等しく保障し愛護する。</p> <p>3 保護者とともに、すべての児童を心身ともに健やかに育成する。</p> <p>《基本方針》</p> <p>1 乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、人として生きる力を養う。</p> <p>2 子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図る。</p> <p>3 養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。</p> <p>4 保護者と密接な連携をとり、保育の内容等が保護者の理解と協力を得られるよう努め、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視した保護者支援を行う。</p> <p>5 地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	月～金7:00～19:00 土曜日7:00～18:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	6	1		
1歳児	11	10	1		
2歳児	15	12	1		
3歳児	15	15	1		
4歳児	15	15	1		
5歳児	15	15	1		
計	80	73	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		16人	
うち		13人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	2人	その他（ ） 人
非常勤職員数		7人（常勤換算 3.6人）	
うち	保育士	4人	（常勤換算 1.9人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	2人	（常勤換算 1.2人）
	その他（ 事務員 ）	1人	（常勤換算 0.5人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 人	非常勤： 2人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		歳（ 38歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		年（ 3.4年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	672.42 m ²	
	児童1人あたり	8.41 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	敷地面積 1449.64 m ²	
	児童1人あたり	18.12 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	51年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ 日々の送迎時の保護者との対話
- ・ 連絡ノートでのコミュニケーション
- ・ 定例保護者会
- ・ クラス懇談会（個別懇談含む）
- ・ 行事後のアンケート調査
- ・ 園庭開放や交流保育
- ・ 意見箱の設置し、苦情解決者委員制度を取り組んでいる
- ・ 幼保小事業

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・ 異年齢での交流が自然に行われるよう努めている。特に2階の3～5才児クラスは、クラス間の行き来を大事にしている。2階のフリースペースや廊下の活用に努めている。
- ・ 園庭が広いので、自然と0～5歳児クラスが関わり合いながら遊んでいる。
- ・ 児童の状況や取り組み、問題や課題の検討など、週に一度全クラスが集まり、話し合う時間を設けている。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

2 回 （平成 26 年度）